

種 別	検査項目等	必要経費 (人員及び必要物品、その他)
1. 検診受付	① 全体把握 ② 個人負担金の徴収（社会保険等特定健康診査受診者・健診は保険者が実施） ③ 受付前及び受付時の案内等場内整理、健診受診者が持参する書類等の点検及び確認 ④ 報告	管理スタッフ 1 名 受付スタッフ 1 名 受付前スタッフ 4 名
2. 検査誘導	① 問診呼び出しへの誘導 ② 乳がん・子宮頸がん・胃がん検診への受診誘導	スタッフ 1 名 スタッフ 1 名
3. 問診	特定健康診査・基本健康診査及び各種がん検診の問診業務	看護師又は保健師 5 名
4. 特定健康診査 （国保） 若年者健康診査 （国保） 基本健康診査 追加項目健診 ※後期高齢者健康診査、特定健康診査（社保等）は保険者が実施。	① 身体測定（身長、体重、腹囲） ② 血圧測定（収縮期血圧、拡張期血圧） 血圧高値者 160mmHg/100mmHg 以上の者に対しては、受療勧奨通知を発行する ③ 血液検査 【特定健康診査 検査項目】 ・中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、GOT、GPT、 γ -GTP、 ・空腹時血糖、HbA1c 血糖高値者 HbA1c 6.5 以上の者に対しては、受療勧奨通知を発行する ・ <u>血清クレアチニン、血清尿酸、eGFR、（国保のみ）</u> 【追加項目検診 検査項目】 ・ヘマトクリット値・色素量・赤血球数（詳細項目該当者を除く） ・白血球数・血清アルブミン・総コレステロール（受診者全員） ・血清クレアチニン、eGFR・尿酸（社会保険等の健診受診者） ④ 尿検査 ※太子町が指定する尿採取用尿容器代〔健診前送付分容器を含む〕 【特定検査項目】 ・糖、蛋白 【追加検査項目】 ・尿潜血 ⑤ 診察 内科診察および禁煙指導・特定保健指導の必要性の説明および勧奨 ⑥ 結果処理 【特定健診・後期高齢者検診】 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き〔第 4 版〕」及び令和 5 年 3 月 31 日付け厚生労働省第 52 号「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準第 16 条第 1 項の規定に基づき厚生労働大臣に定める者」に基づき実施すること 【基本健康診査】 健康増進法施行規則第 4 条の 2 第 4 号に定める健康診査であり、実施内容は特定健康診査に準ずる。	看護師または検査技師 1 名 看護師（問診と同時） 看護師 2 名 検査技師 1 名 尿検査紙・採取用容器代・ブラ容器代 医師 2 名 診察介助看護師 1 名
5 詳細な項目診査 （医師の判定により	① 心電図（詳細な検査項目に該当する場合は特定健診で実施する。 該当者以外も実施）	検査技師 2 名

実施)	安静時 12 誘導	
	② 貧血検査（詳細な検査項目に該当する場合は特定健診で実施する） 検査項目【赤血球数、血色素量、ヘマトクリット】	看護師 （血液検査と同時）
	③ 眼底検査（詳細な検査項目に該当する場合は特定健診で実施する） ※前年度の血糖値（太子町に記録があるもの）と当日の血圧値により対象 選定し、医師の判断により実施。医師が必要なしといった場合は、希望 者についても実施しない。 <u>また対象外の希望者については実施しない。</u>	検査技師 1 名
	④ 腎機能検査（全員・詳細な検査項目に該当する場合は特定健診で実施する） 検査項目【血清クレアチニン・血清尿酸・eGFR】	看護師 （血液検査と同時）
	・健康増進法施行規則第 4 条の 2 第 4 号に定める健康診査であり、実施内容は特定健康診 査に準ずる。 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き〔第 4 版〕」及び令和 5 年 3 月 31 日付け厚生労働省第 52 号「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関す る基準第 16 条第 1 項の規定に基づき厚生労働大臣に定める者」に基づき実施するこ と	
6. 大腸がん検診	免疫便潜血反応検査 2 日法（別紙 3 仕様書参照） 一日約 120 名	受付スタッフ 1 名 ※便採取用容器代含む
7. 結核・肺がん検診	胸部 X 線直接撮影（別紙 3 仕様書参照） 一日約 120 名	放射線技師 1 名 検診車 1 台配置 喀痰容器代含む
8. 肝炎ウイルス検診 （特定健診又は健康診査同時）	特定健診又は基本健康診査と同時に実施した場合	看護師（血液検査と同時実施）
	① HBs 抗原検査	
	② HCV 抗体検査 ③ HCV 核酸増幅検査（HCV-RNA の検出） HCV 抗体検査により、中力価及び低力価とされた検体のみ行う	
9. 胃がん検診	胃部 X 線撮影（別紙 3 仕様書参照） 一日約 40 名	放射線技師 1 名・看護師 1 名 検診車 1 台配置
10. 乳がん検診	マンモグラフィ検査（別紙 3 仕様書参照） 一日約 45 名 受診者の年齢は、当日年齢で標記する	放射線技師 1 名・看護師 2 名 検診車 1 台配置
11. 子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診（別紙 3 仕様書参照） 一日約 40 名 受診者の年齢は、当日年齢で標記する	内診医 1 名・看護師 1 名 検診車 1 台

注意事項

- ① 健診予約者に問診票を発送する際に同封する、健診内容および注意事項がわかる説明書を準備すること。
- ② 特定健康診査結果を受診者に通知する際には、結果内容に合わせた、実施基準第 3 条に基づく必要な情報を提供するものとする。
- ③ 問診時等に採血時間（食後 10 時間以上か以下か）について確認すること。
- ④ 血糖検査で空腹時血糖を実施した場合は、追加健診で HbA1c を実施することとする。
- ⑤ 詳細な健診の項目（医師の判断による追加項目）を実施する場合は、受診者に十分な説明を行うと共に、国保連合会に送付する結果データにおいてその理由を詳述することとする。

- ⑥ 生理中の女性に対する尿検査については、検査不能として実施を行わない場合も認めるものの、その他の項目については全て実施すること。実施されなかった場合は完全に実施するまで何度も実施するか、未実施扱いとする（この場合甲から乙に委託費用は支払わない）。
- ⑦ 肝炎ウイルス検査に関しては、指針及び受診者に不利益が生じないように配慮すること。
- ⑧ すべての検査において、結果処理等を含めた業務であること。